

(参考)

東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業 概要

1 事業の目的・概要

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に、本県ゆかりの選手を1人でも多く輩出することを目指し、アスリートを指定し、強化する取組へ助成する。

2 事業内容

競技団体等作成の競技力向上計画に基づく各種取組に対し、補助率10/10～1/2で助成。

対象者	東京オリンピック実施33競技、東京パラリンピック実施22競技に出場可能な年齢のアスリート
助成対象となる取組	○外部指導者の活用○医・科学サポート○競技用具の整備 等
事業実施機関	千葉県競技力向上推進本部
強化期間	平成26年度～令和元年度



強化指定証授与式の様子（平成30年7月11日）

3 指定基準（競技団体等推薦基準）

- ・平成30年度日本代表選手【世代別大会を除く】、中央競技団体強化指定選手
- ・平成30年度国内最上位大会入賞者【世代別大会を除く】
- ・過去の成績や競技記録等が上記と同等であると認められる者

4 指定実績（H31.4.1現在）

	H31		H30	H29	H28	H27	H26
オリンピック部分	77名	特別強化	117名	121名	144名	126名	120名
		基礎強化			148名 13団体	218名 13団体	411名 12団体
パラリンピック部分	53名	特別強化	52名	55名	48名	40名	
		基礎強化	33名 2団体	36名 2団体	44名 3団体	50名 3団体	

※H26は「めざせ東京オリンピックちばジュニア強化事業」としてオリンピック部分を実施。パラリンピック部分は、H27から実施。H29にオリンピック部分、H31にパラリンピック部分の基礎強化を廃止。

※オリンピック部分はH26からH30までジュニア世代（H26に12～22歳の選手）の強化指定を実施。

(参考) 平成30年度強化指定選手の主な活躍状況

- ① 国際大会…レスリング世界選手権優勝、トランポリン世界選手権優勝、アジア競技大会優勝7種目、ウィルチェアーラグビー世界選手権優勝、車いすテニス全仏オープン優勝、アジアパラ競技大会優勝5種目など、各種国際大会で活躍
- ② 国内大会…国民体育大会において、48名が出場し1位10名を含む34名が入賞、全国障害者スポーツ大会において、11名が出場し1位9名を含む10名が入賞するなどの活躍